

公債要論終

大正五年十一月一日印刷
大正五年十一月五日發行

定價金八拾錢

著作者 田中穗積

發行者 大葉久吉



印刷者 青柳十一郎

東京市牛込區市谷加賀町二丁目拾七番地

場工第一舍秀英東所刷印

發行所 東京寶文館
關西專賣

東京市日本橋區本石町三丁目
振替口座東京二八〇番
大阪市東區淡路町四丁目
番號

合資會社

大阪寶文館



東京實文館發行經濟制法

早稻田大學經濟科教授諸先生執筆
プリントル大学經濟學博士教授
國際經濟論 著者文四郎
小林綠著

改版——實踐

國

小林綠著

國際

替

布裝背革全一冊
定價金貳圓七拾錢
送料金拾貳錢

本書の著者は曩に東京高等商業學校を卒業し、後地方銀行に在る事數年後横濱正金銀行に轉じ更に再轉して外國銀行に入り、外國爲替事務に從ふこと數星霜、而して傍ら教鞭を執つて國際爲替に關して講説すること久し。

本書は即ち著者が實際に經驗せる所を叙説し、苟も外國爲替に關する實務の解説に至りては、細大漏すなく、詳審精密の程度に於て親切に詳説せらる。されば斯業に直接若くは間接に關係ある人士は勿論、斯學研究者の一讀を要するもの。幸に一闇の榮を賜はらんことを敢へて望む

東京實文館發行經濟制法

次 目

一 救はれたる日本	天野爲磯安部
二 戰後の生活問題	淺川榮次伊藤重治
三 戰時戰後の外國貿易	北澤新次
四 戰後の海運政策	小林澤昌行
五 戰後の社會問題	鹽澤中穂
六 戰後の財政	田沼昌行
七 戰後の金融政策	吉田良綱
八 戰後産業政策の根本如何	平瀬淑
九 保険會社の財政利用を論ず	宮田良綱
十 我工業の發展と原價計算制度普及の必要	田中穂
十一 戰後の物價と我邦產業政策の方針	三郎郎
十二 戰後の財政	積貞昌郎
十三 戰後の金融政策	郎
十四 戰後産業政策の根本如何	雄之

布裝全一冊
定價金八拾五錢
送料金八錢

東京實文館發行制法免

士學商授教校學業商等高樽小
著一陶本坂

- 條約改正の大業一度び結了せしと雖も是れ法權の恢復たりしのみ税權の恢復未だ完からず
●而して今やこの改訂の機は眼前に迫りて國民みな其の完璧を庶幾せざるものなし
●津村教授時に感あり多年專攻せる研究の結果を叙述してこゝに本書を公にす
●所論の正確觀察の鋭利これ教授特得の長所加之文章流麗其の歸する所を知らしめて餘蘊なし
●教授養に國民經濟學原論を著すや學界の名著として好評墳々洛陽の紙價爲めに貴かりき
●今又此の新著あり必ずや刻下の國論に資する所の影響前著が與へし影響より層一層なるべし
- 修訂 交通論 布裝 定價金貳圓八拾錢
第一卷 海運 全一冊 送料金拾貳錢
第二卷 海運政策 布裝 定價金貳圓八拾錢
第三卷 都市及電氣鐵道 布裝 定價金壹圓八拾錢
交通論 布裝 定價金貳圓八拾錢
全一冊 送料金拾貳錢
全一冊 送料金拾貳錢
- 本書は海運政策を總論、海事行政及び商港に關する政策、船舶に關する政策、海事に關する政策、航海業に關する政策、各國海運史の數項に分ちて海運の政策に關する一切の事項を詳説せり。
- 本書は都市及電氣鐵道に關して詳説せる新著にして、都市交通、公共團體と都市鐵道との關係、都市鐵道政策、電鐵經營等につき極めて詳細に叙説せり。蓋し本書は既刊類書中の一頭地をぬけるものなり。

東京實文館發行制法免

法學博士 關一著
工業政策

上製脊皮美本全貳冊
定價 上卷金貳圓參拾錢冊
下卷金貳圓參拾錢冊
送料 各金拾貳錢冊
金拾貳錢冊

- 面目一新せる我が國の工業は尙世界の大勢に伴ひ解決を要すべき幾多の重大問題を有す
●近く帝國議會に於て討議せられたる工場法案の如きは其の一ならずんばあらず
●本書は關博士が豊富なる學殖と蘊蓄とを以て工業政策の大綱を敍述せられたるものなり
●即ち博士一家の識見は書中至る所に披瀝せられ學理と實際問題との關係を明かにせられたり
●且つ當面の問題の解決に資するところ最も明快を極め文章また暢達易解せしむるに足る
●されば學者實務家たるとを問はず必讀すべきの著たるや喋々を要せざるべし故て薦む

東京實文館發行制經書

增
改
版
訂

財政學通論

學

上製全冊
定價金圓五拾五錢
送料金拾貳錢

京都帝國大學教授
法學博士 織田萬著

慶應義塾法學博士 堀江歸一著

本書は著者が慶應義塾大學に於て財政學の講義を擔任し、親しく學生に教授せる稿本を改竄整理して世に公にせるものにて、財政學の一般を詳述し、殊に國家財政の研究には大なる力を盡したるものなれども、一方には自然時事の問題に關聯して意見を披瀝したるところあり。今や歐洲の大動亂は財政問題に就き種々なる意味を吾人に提供せり。戰後我國の財政狀態は如何に變化するか、また現行財政の法規制度に於ても改正を施すべき點少なしとせず。著者は斯學のオリジニーにて、本書はかかる問題解決の鍵を與ふるものなり。

東京實文館發行制經書

小樽高等商業學校商授士學業商學校教授

高島一郎著

金融の原理

布裝 定價金壹圓五拾錢
全一冊 送料金拾貳錢

(附)歐洲戰後の金融問題一斑

●本書は著者獨特の組織及び徹底せる理解を傾倒して著はされたるもの、業務の一端のみを叩かず統一的に金融業全局の運用を究め、技術論手續論よりも理論を重んじ、預金銀行業務に没頭せずして、中央銀行國際銀行以下の金融機關の聯帶作用を明晰にする等、金融全局を闡明して餘蘊なし。

貨幣及物價の原理

布裝 定價金壹圓貳拾錢
全一冊 送料金拾貳錢

(附)列國幣制の新傾向と歐洲戰爭

●本書はフィッシャー、ラフリン等の所論を研覈して、貨幣數量の經濟的意義を明徴にし、ケーンス、コナント等の主張を解剖して、列國幣制上の新傾向を闡明し、以て一面個人の財産を擁護する所以を説き、他面金集中、銀行券流通及び金爲替本位の三主義の協労的運用を研究して本邦幣制の歸趣を論定せり。

京都帝國大學
法科大學

法學博士 市村光惠著

改版行 政 法 原 理

布裝背皮 定價金參圓八拾錢
全壹冊 送金料拾六錢

著者曩に行政原理を公にするや、其の論理は明晰、考證は該博にして而も斯學大小の疑問を解
決して餘すなく、加之其の實際との調和を保つに力められたる點に於て一頭地を抜き、研究者
必讀の書として好評噴々たり。爲めに初版再版忽ちにして盡くるの盛況を呈し、江湖の需要は
更に一層を加へたり。其後著者官命により歐洲に留學せられたるが、歸來本書の著作に着手し
推敲數次を重ねて、全然一箇の新著を成せり。本書第四版即ち是なり。幸に斯學の研究に志ある
士の一閲をすゝむ。

增版訂法制經濟大資料

布裝背革 定價金參圓五拾錢
全一冊 送料金拾六錢

●●●●●本書叙述 穩健公正學說に基き平易適切に解釋を與へたり
最新資料 斬新實際資料適切なる實例豊富趣味橫溢せり
檢問題題 法經科一回より大正四年迄全部網羅索引附加
改訂六版途 小學・中學・師範の教授書學生研究書文檢必讀書
版 大正五年五月現行法令經濟の現勢に基き改訂す

東京實文館發行制經濟書

神戶會計學會編

會 計 學 論 叢

洋裝定第一集金六拾錢
全一冊送金七拾錢

會 計 法 規 通 論

上製 定價金貳圓五拾錢
全一冊 送料金拾貳錢

本書は會計學の研究を發表し、以て斯學の普及を圖らんが爲に上梓したるもの。鹿野東高商教
授の貸借對照表調製上評價の標準如何、原口神戸高商教授の仕譯の統一に就て、東神戸高商教
授の英國免許會計人の特に火災保險業者を援助する一例、田中三十四銀行員の信用調査に於け
る貸借對照表の地位等十篇を收めたり。すべて特殊の研鑽に成れるものにして、斯學研究者の
参考に資する所少からず。敢てすゝむ。

東京實文館發行制經濟書

會計檢査院副檢
查官兼書記官

武藤榮治郎著

東京實文館發行制法經書

神戶高等商業學校教授 法學博士 津村秀松著
長崎高等商業學校教授 法學士 山内正瞭著
訂改經濟學大意綱要 上製美本 全壹冊 定價金七拾五錢
全壹冊 送料金八錢

文英經

長崎高等商業學校教授 商學士

藤井宇

平尾丹治著

定價金壹圓五拾錢

特製金貳拾五錢增

送料金拾貳錢

洋裝美本

定價金六拾錢

特製金壹圓七拾五錢

送料金八錢

錢

新最商業通義

法學士

藤井宇

平尾丹治著

定價金貳拾五錢增

送料金拾貳錢

洋裝美本

定價金六拾錢

特製金壹圓七拾五錢

送料金八錢

錢

錢

理人通義

上製

全壹冊

定價金壹圓七拾五錢

特製金貳拾五錢增

送料金拾貳錢

錢

訂正法

京都帝國大學法科大學教授

法學博士

織田萬著

定價金壹圓七拾五錢

特製金貳拾五錢增

送料金拾貳錢

洋裝美本

定價金六拾錢

特製金壹圓七拾五錢

送料金八錢

錢

行政法講義

京都帝國大學法科大學教授

法學博士

織田萬著

定價金壹圓七拾五錢

特製金貳拾五錢增

送料金拾貳錢

洋裝美本

定價金六拾錢

特製金壹圓七拾五錢

送料金拾貳錢

錢



終